

平成 18 年 4 月 26 日
東北電力株式会社
東通原子力発電所

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 18 年 1 月分

No.	発生日	概要	処置状況 (3月31日現在)	発生場所
1	H18.1.2	復水器3系統の内、1系統の海水が通る細管の洗浄を行う設備において、洗浄に使用するスポンジ状ボールを回収する機器内の、海水の流れ具合を監視している計器1台に指示不良が確認されたため、当該計器を隔離し、部品を新品と交換した。また、再発防止対策として計器の取り付け位置等を変更した。	処置済み	屋 外
2	H18.1.6	ガイシ（電線を支持し、絶縁するために開閉所に取り付けているもの）の塩分付着状況を調べるための、試験用ガイシを洗浄する設備に水を供給する配管のうち、手動弁の1つが完全に閉まっていないことが確認されたため、当該弁を新品と取替えた。	処置済み	屋 外
3	H18.1.7	原子炉内の燃料の状態を確認する計算機において、通信異常が発生したため、計算機を再起動し、正常状態に復旧させた。当該計算機を復旧させるまでの間については、別の計算機を用いて確認をしていたため、プラントの運転に問題はなく、また、発電所の運転状態を確認する計算機にも問題はなかった。	処置済み	原子炉建屋

4	H18.1.15	タービン補助設備に供給する冷却水（非放射性）のタンクの水位に低下傾向が見られたため、熱交換器の細管を点検したところ、一部の細管に微小な穴が確認されたため、当該細管を閉止した。	処置済み	海水熱交換器 建屋
5	H18.1.18	発電所周辺の空間の放射線量を監視している設備において、中央制御室内の監視ユニット2台の内、1台の状態履歴を管理しているソフトが停止したためソフトを再起動し、正常状態に復旧させた。なお、データの測定および伝送は正常に行われていることを確認しており、問題はない。	処置済み	中央制御室
6	H18.1.23	ボイラーの燃料である重油を貯蔵しているタンクに設置している泡消火設備において、泡消火に使用する水が通る配管と弁との接続部ににじみが確認されたため、接続部のパッキンを新品と取替えた。	処置済み	重油移送 ポンプ建屋